

評 価 結 果

農業農村整備事業等再評価結果書(案)

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目													事業主体の実施方針	事業主体の 予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他					
関東農政局	茨城県	農業競争力強化農地整備事業	幸江崎	茨城県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.13	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を 要求する。	本地区は、現在までに区画整理がおおむね完了しており、事業進捗率は97.3%となっている。 本事業により、ほ場の大区画化、用排水路及び農道が整備されることで、農業生産性が向上するとともに担い手への農地利用集積が進むなどの事業効果が認められる。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	千葉県	農業競争力強化農地整備事業	夷隅川1期	千葉県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.10	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を 要求する。	本地区は、現在までに区画整理がおおむね完了しており、事業進捗率は76.3%となっている。 残工事は、集落排水路、集落道路及び暗渠排水であり、計画的に整備を進め、事業工期内の完了を目指すしている。 本事業により、ほ場の大区画化、用排水路及び農道が整備されることで、農業生産性が向上するとともに担い手への農地利用集積が進むなどの事業効果が認められる。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
北陸農政局	新潟県	農業競争力強化農地整備事業	国府川左岸	新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	農業用水施設、暗渠排水：1.59 農道：1.50	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を 要求する。	本地区では、用水路、農道及び暗渠排水の整備を進めており、事業進捗率は70.8%に達している。 整備済みの地域では、効率的な水管理が可能となったことで営農の効率化が進んでおり、一定の事業効果の発現が認められる。 事業の効果が早期に発現され、生産性の高い営農が行えるよう、環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実かつ計画的に事業を推進し、予定されている令和12年度の事業完了に努められたい。	予算を割り当てる。	
北陸農政局	新潟県	農業競争力強化農地整備事業	女川	新潟県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.01	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を 要求する。	本地区では、区画整理及び用排水路の整備は完了し、事業進捗率は89.4%に達している。 本事業を契機に新たに設立された生産法人を中心に農地集積率が増加するなど経営規模拡大が図られており、一定の事業効果の発現が認められる。 事業の効果が早期に発現され、生産性の高い営農が行えるよう、環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実かつ計画的に事業を推進し、予定されている令和8年度の事業完了に努められたい。	予算を割り当てる。	
九州農政局	熊本県	農業競争力強化農地整備事業	両出	熊本県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.71	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を 要求する。	本地区では、現在までに用排水路は約7割、農道は約4割の整備が完了している。 キャベツ等の野菜指定産地となっているほか、野菜類の作付面積が増加傾向にあるなど、効果が発現している。 地元からは、安定した水利用や営農の省力化のため、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、用排水路、農道等の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目													事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他					
関東農政局	茨城県	水利施設等保全高度化事業	本郷高野	茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	2.08	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、区画整理に必要な盛土材の調達及び運搬経路等の協議調整に時間を要し、現在までの事業進捗率は58.6%となっている。 まだ多くの残工事があるが、区画整備が実施された地域においては、大区画となり、さらに効率的な営農が可能となったことで、担い手の個人農家や農地所有適格法人が営農規模を拡大して参入するなどの事業効果が認められる。 課題となっていた盛土材の調達及び運搬経路等の各種協議調整も完了していることから、今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	千葉県	水利施設等保全高度化事業	両総茂原南	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.28	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、天然ガス供給管等の既存埋設管が多く、それらの関係機関との各種協議調整に時間を要し、現在までの事業進捗率は71.4%となっている。 課題となっていた関係機関との各種協議調整も完了していることから、今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、早期の事業効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	千葉県	水利施設等保全高度化事業	北総中央Ⅰ期	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.10	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに排水改良及び用水整備を実施中であり、事業進捗率は46.5%となっている。 排水改良については、洪水調節池整備に伴う用地交渉等に時間を要したものの、現在までに洪水調節池5か所のうち4か所の整備が完了し、幹支線排水路や暗渠排水の整備と併せて、冠水被害の軽減や労働環境の改善などの事業効果が認められる。 また、用水整備については、水源転換の地元調整に時間を要したが、今後は、地元に対する用水利用の普及啓発といった従来のアプローチに加え、農業法人・企業等を積極的に誘致し、新たな用水利用を進めるアプローチを行うこととしている。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	千葉県	水利施設等保全高度化事業	両総多古支線	千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.21	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに用水路整備は完了し、既に効果は発現しており、事業進捗率は80.4%となっている。 事業実施前は施設の老朽化による漏水等で農業用水の安定的な確保が困難な状況であったが、本事業の実施により、十分な用水の供給が実現し、持続的な地域営農の実施が可能になるなどの事業効果が認められる。 残工事は、既設管路の充填のみであり、地権者及び関係機関との各種協議調整も完了していることから、今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
北陸農政局	新潟県	水利施設等保全高度化事業	阿賀野川右岸（1期）	新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.69	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、排水機場の整備が付帯施設を残し完了しており、排水路の整備も進めているが、事業進捗率は50.2%にとどまっている。 本事業により施設整備が完了した地域では、湛水被害が軽減するとともに、大豆を中心とした複合経営が行われるなど一定の事業効果の発現が認められる。 一方で未整備地域においては、依然として湛水被害発生への不安があり、地元から早期完了を求められていることから、引き続き環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実かつ計画的に事業を推進し、予定されている令和9年度の事業完了に努められたい。	予算を割り当てる。	
北陸農政局	新潟県	水利施設等保全高度化事業	阿賀野川右岸第3	新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.85	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、排水機場及び排水路の整備を進めているが、事業進捗率は50.1%にとどまっている。 本事業により施設整備が完了した地域では、湛水被害が軽減するとともに、大豆を中心とした複合経営が行われるなど一定の事業効果の発現が認められる。 一方で未整備地域においては、依然として湛水被害発生への不安があり、地元から早期完了を求められていることから、引き続き環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実かつ計画的に事業を推進し、予定されている令和10年度の事業完了に努められたい。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目													事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他					
北陸農政局	新潟県	水利施設等保全高度化事業	亀田郷	新潟県	○	○	○	－	○	○	○	○	3.47	○	○	○	－	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、丸山排水路及び糸魚堀排水路の整備が完了しているほか、本所排水路の整備を進めており、事業進捗率は75.7%に達している。 本事業により排水路の整備が完了した地域では、排水障害への懸念や農業経営に対する不安が払拭されつつあり、一定の事業効果の発現が認められる。 一方で未整備地域においては、排水障害や豪雨時の湛水被害に対する不安が解消されておらず、地元から早期の完了を求められていることから、引き続き環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実な事業推進に努められたい。	予算を割り当てる。	
北陸農政局	新潟県	水利施設等保全高度化事業	大河津	新潟県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.83	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、五千石川排水路、新長導水路及び馬鹿川導水路の整備は完了し、事業進捗率は72.5%に達している。 本事業により排水路の整備が完了した地域では、排水改良が進む等一定の事業効果の発現が認められる。 地区全体の排水不良を解消し、農業経営の複合化による経営基盤を強化するため、引き続き環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実かつ計画的に事業を推進し、予定されている令和10年度の事業完了に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	静岡県	水利施設等保全高度化事業	西浦みかん足保久料	静岡県	○	○	－	－	○	○	○	○	1.35	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現況道路が狭小で、工事用車両の進入等に支障になることにより、工事進捗が遅れ、現在までの事業進捗率は56.4%となっている。 一方、これまでの工事で主な支線農道の整備が行われたことにより、工事用車両の進入や営農車両等の迂回が可能となり、工事進捗に係る課題が解決されている。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、地元ブランド「寿太郎」みかんの産地形成の促進及び支線農道の津波避難路としての機能確保など、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
東海農政局	三重県	水利施設等保全高度化事業	宮川左岸	三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.08	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	当該地域は、水路の老朽化による維持管理や農業用水の管理の負担増に苦慮していることから、本事業による管理の省力化を強く要望するとともに、早期完成を強く要望している。事業採択後に畑地帯の整備に係る地元調整等を要したこと、さらに農業用排水施設整備事業と密接に関連する区画整理事業を併せて実施するように事業計画を見直したこと等以外に阻害要因はなく、工期を7年延長することになっているが、令和8年度に完了する見込みとされている。水路整備及び区画整の残工事を計画通りに進捗させ、事業効果が早期に発現することに期待する。	予算を割り当てる。	
中国四国農政局	愛媛県	水利施設等保全高度化事業	高野地	愛媛県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.41	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、用水路及び畑地かんがい施設の整備を進め、令和8年度に事業完了する見込みとなっている。 担い手への農地集積率の増加及び各年齢層で満遍なく担い手が構成されていることから長期的な営農が見込まれる。また、担い手が中心となりマーレード等の加工品の販売に力を入れている。 今後は、事業の効果が早期に発揮され安定したかんがい用水の供給によって生産性の高い営農が行えるよう、環境に配慮しつつ計画的な事業実施に努められたい。	予算を割り当てる。	
九州農政局	佐賀県	水利施設等保全高度化事業	多久導水路	佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.10	○	○	○	－	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、関連事業で整備された嘉瀬川ダム及び幹線水路の供用が開始されている。 既に用排水路が整備されたほ場では、米、麦、大豆を中心とした土地利用型農業や施設園芸（いちご、アスパラガス等）による安定した農業経営が展開されている。 地元からは、農業用水の安定供給、担い手の育成及び農地集積を促進するため、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、用排水路の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目													事業主体の実施方針	事業主体の 予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考
					ア		イ		ウ		エ			オ	カ	キ	ク					
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C				その他					
九州農政局	宮崎県	水利施設等保全高度化事業	小林東部第1	宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.08	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、関連事業で整備された浜ノ瀬ダムの供用が開始されている。 既に排水路及び農道の整備が完了し、畑地かんがい施設についても概ね整備され、安定した農業経営が可能となり、加工・業務用野菜を生産する法人の参入やしょうがの単収増加など、効果が発現している。 地元からは、安定した水利用や地域農業の持続的発展のため、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、畑地かんがい施設の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	
九州農政局	宮崎県	水利施設等保全高度化事業	細野第1	宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.13	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、関連事業で整備された浜ノ瀬ダムの供用が開始されている。 既に畑地かんがい施設及び農道が整備されたほ場では、安定した農業経営が可能となり、加工・業務用野菜を生産する法人の参入やごぼうの単収増加など、効果が発現している。さらに、スプリングラの整備が完了している茶園では、病害虫防除、干害防止及び凍霜害防止への活用により、高収益性の有機栽培への転換が可能となっている。 地元からは、安定した水利用や地域農業の持続的発展のため、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、畑地かんがい施設及び農道の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	
九州農政局	宮崎県	水利施設等保全高度化事業	通山・坂の上	宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.22	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、関連事業で整備された切原ダムの供用が開始されている。 既に畑地かんがい施設の整備が概ね完了し、安定した農業経営が可能となり、加工・業務用野菜を生産する法人の参入やさといもの単収増加など、効果が発現している。 地元からは、安定した水利用や地域農業の持続的発展のため、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、畑地かんがい施設及び農道の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	
九州農政局	鹿児島県	水利施設等保全高度化事業	兼久・大津川・瀬滝	鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.29	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、関連事業で整備された徳之島ダムの供用が開始されている。 既に畑地かんがい施設の整備が実施されたほ場では、高収益作物であるばれいしょの単収が増加するなど、効果が発現している。 地元からは、営農の省力化や農業用水の確保による農業経営の安定及び生産性向上のため、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、畑地かんがい施設、農道等の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	
九州農政局	鹿児島県	水利施設等保全高度化事業	木之香阿権	鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.01	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、関連事業で整備された徳之島ダムの供用が開始されている。 既に畑地かんがい施設の整備が実施されたほ場では、基幹作物であるさとうきびの単収が増加するなど、効果が発現している。 地元からは、営農の省力化や農業用水の確保による農業経営の安定及び生産性向上のため、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、畑地かんがい施設の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	
沖縄総合事務局	沖縄県	水利施設等保全高度化事業	大座	沖縄県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.15	○	○	○	－	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区の令和5年度までの進捗率は35.9%であり、先行する関連事業(区画整理)関係者との調整や設計の見直しなどの遅延要因が令和6年度に解消されたことから、本事業の整備を順次進め令和10年度に完了する見通しである。 本事業により既に施設が整備された農地では、かんがい用水施設の確保により、作物の品質向上及びバインアップルやマンゴー等の高収益作物へ転換がなされ、着実に効果が発現されている。 今後もコスト縮減を図りつつ、受益者の意向を確認しながら事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目												事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考	
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C			その他						
沖縄総合事務局	沖縄県	水利施設等保全高度化事業	真壁南	沖縄県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.23	○	○	○	—	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区の令和5年度までの進捗率は64.7%であり、洪水調整池の用地取得が令和6年度で完了するため、順次整備を進め令和10年度に完了する見通しである。 本事業により既に施設が整備された農地では、かんがい用水施設の確保により、作物の品質向上及び小菊やレタス等の高収益作物へ転換がなされ、着実に効果が発現されている。 また、洪水調整池の整備により湛水被害が防止され、農業経営の安定も図られることからさらなる高収益作物への転換が促進されることに期待できる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、受益者の意向を確認しながら事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
東北農政局	山形県	農村地域防災減災事業	京田川	山形県	○	○	○	—	○	○	○	○	1.70	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、主要施設である排水機5施設のうち4施設の整備と、付帯する導水路の全延長3.0kmのうち0.6kmの整備が完了しており、事業進捗率は87.2%となっている。 平成26年度の事業採択以降、河川協議に伴う排水機吐水槽の耐震化等による事業費の増加や、隣接関係者との協議による工程調整が必要となり工期が長期化したことにより、これまで、令和3年1月と令和6年3月の2回に渡り、事業計画の見直しを行ってきた。 近年、集中豪雨等が頻発する中で、本事業の実施による現況排水系統の統合や自然排水区から機械排水区への排水手法の見直しを行い、湛水被害の軽減を図ることは本地区の農業経営の安定はもとより、地域の防災減災に繋がる重要な対策であることから、引き続き、営農が継続され、地域住民が安全・安心に暮らせるよう、現計画どおり事業の早期完了に向けて着実な推進に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	茨城県	農村地域防災減災事業	新郷	茨城県	○	○	○	—	○	○	○	○	1.32	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに排水機場及び排水路の更新整備は完了しており、事業進捗率は70.6%となっている。 残工事は、排水機場の附帯施設である導水管整備800mであり、計画的に整備を進め、事業完了を目指している。 本事業により、排水機場や排水路が整備された地域においては、湛水被害が軽減され、農業経営の安定と国土保全などの事業効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業工期の見直しを行い、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	茨城県	農村地域防災減災事業	小貝東部	茨城県	○	○	○	—	○	○	○	○	2.63	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに用水路整備18kmを完了しており、事業進捗率は85.7%となっている。 残工事は、用水路整備4kmであり、計画的に整備を進め、事業完了を目指している。 本事業により、用水路が整備されることで、十分な用水の供給が行われ、農業生産性の向上と農業経営の安定化などの事業効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業工期の見直しを行い、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	埼玉県	農村地域防災減災事業	権現堂	埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.34	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに用水路整備7kmを完了しており、事業進捗率は74.4%となっている。 残工事は、用水路整備1kmであり、計画的に整備を進め、事業完了を目指している。 本事業により、用水路が整備されることで、用水不足が解消され、農業経営の安定などの事業効果が認められる。 今後ともコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目												事業主体の実施方針	事業主体の 予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考	
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C			その他						
関東農政局	埼玉県	農村地域防災減災事業	島中領	埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	1.22	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに石綿管の敷設替え8kmを完了しており、事業進捗率は58.7%となっている。 残工事は、石綿管の敷設替え3kmであり、計画的に整備を進め、事業完了を目指している。 本事業により、石綿管の敷設替えが完了した地域においては、管路損傷による送水障害が解消され、安定した用水供給が行われるなどの事業効果が認められる。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	神奈川県	農村地域防災減災事業	曾我別所	神奈川県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.58	○	○	○	－	残事業量を精査し、効果発現に必要な事業量に絞り、事業計画を変更して事業を継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに降雨による農地の侵食や崩壊等を防ぐため、水路兼用農道等の整備を実施中であり、事業進捗率は85.9%となっている。 本事業により、水路兼用農道が整備された地域においては、農地の侵食や崩壊等の被害が軽減されるなどの事業効果が認められる。 一方で、受益面積は減少傾向であることから、地元調整を行いつつ計画の見直しを行い、当該地域の適正な事業範囲を確定した上で、今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	神奈川県	農村地域防災減災事業	鬼柳	神奈川県	○	○	○	－	○	○	○	○	2.74	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに排水路整備3.6kmを完了しており、事業進捗率は87.5%となっている。 残工事は、排水路整備1.4kmであり、計画的に整備を進め、事業完了を目指している。 本事業により、流下能力が不足した排水路の改修を行うことで、湛水被害が軽減され、農業経営の安定と国土保全などの事業効果が認められる。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、さらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
北陸農政局	新潟県	農村地域防災減災事業	安野川	新潟県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.14	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、排水機場の整備が完了し、排水路の整備も進めており、事業進捗率は89.9%に達している。 本事業により施設整備が完了した地域では、湛水被害の軽減が図られており、一定の事業効果の発現が認められている。 一方で、近年の豪雨は予測不可能な状況にあり、地元から早期完了を強く要望されていることから、引き続き環境への配慮やコスト縮減を図りつつ、着実かつ計画的に事業を推進し、予定されている令和11年度の事業完了に努められたい。	予算を割り当てる。	
関東農政局	長野県	農村地域防災減災事業	飯島	長野県	○	○	○	－	○	○	○	○	2.65	○	○	○	－	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、現在までに用水路整備500mを完了しており、事業進捗率は62.4%となっている。 残工事は、用水路50m及び水路橋3か所の整備であり、計画的に整備を進め、事業完了を目指している。 本事業により、用水路が整備されることで、安定した用水の確保及び災害被害の未然防止が図られ、持続的な農業経営などの事業効果が認められる。 今後もコスト縮減を図りつつ、事業完了に向けて着実に事業を推進し、水路橋の整備による災害被害の防止などのさらなる効果発現に努められたい。	予算を割り当てる。	
東海農政局	愛知県	農村地域防災減災事業	上郷2期	愛知県	○	○	－	－	○	○	○	○	4.21	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	当該地域では、近年の局地的集中豪雨の頻発等を受け、農業経営の安定及び地域防災の観点から、農業者・地域住民は本事業による排水機場の機能回復を要望している。事業採択後に河川協議に不測の時間を要したことが及び河川区域内の工事を河川管理者に委託して行う必要があることから調整に時間を要したこと以外に阻害要因はなく、工期を5年延長することになってはいるが、令和7年度に完了できる見込みとされている。排水機場整備の残工事を計画通りに進捗させ、湛水被害の発生を防止されたい。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目												事業主体の実施方針	事業主体の 予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考	
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C			その他						
東海農政局	愛知県	農村地域防災減災事業	高島	愛知県	○	○	○	-	○	○	○	○	7.35	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	当該地域では、近年の局地的集中豪雨の頻発等を受け、農業経営の安定及び地域防災の観点から、農業者・地域住民は本事業による排水機場の機能回復を要望している。事業採択後に樋管等の施工時期を海岸整備事業と調整する必要が生じたこと及び機械工の資材が入手困難になったこと以外に阻害要因はなく、工期を5年延長することになっているが、令和7年度に完了できる見込みとされている。排水機場整備の残工事を計画通りに進捗させ、湛水被害の発生を防止されたい。	予算を割り当てる。	
東海農政局	愛知県	農村地域防災減災事業	領内川右岸北部	愛知県	○	○	○	-	○	○	○	○	3.49	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	当該地域では、近年の局地的集中豪雨の頻発等を受け、農業経営の安定及び地域防災の観点から、農業者・地域住民は本事業による排水機場の機能回復を要望している。事業採択後に排水機場の排水樋管設置に係る河川管理者との協議に不測の時間を要したこと以外に阻害要因はなく、工期を4年延長することになっているが、令和10年度に完了できる見込みとされている。排水機場整備の残工事を計画通りに進捗させ、湛水被害の発生を防止されたい。	予算を割り当てる。	
東海農政局	愛知県	農村地域防災減災事業	光西	愛知県	○	○	○	-	○	○	○	○	1.35	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	当該地域では、老朽化等に伴う石綿セメント管の破損が頻発しており、将来的に農業者を含む地域住民の健康を害する懸念が生じるとともに、受益者からも硬質ポリ塩化ビニル管等への早期更新が要望されている。事業採択後に、市街地に隣接する路線の地元から、交通規制区間縮小の要請があり、年間の工事量を減らすことで対応したこと以外に阻害要因はなく、工期を7年延長することになっているが、令和8年度に完了できる見込みとされている。管更新の残工事を計画通りに進捗させ、農業経営の安定と地域住民の安全を確保されたい。	予算を割り当てる。	
中国四国農政局	徳島県	農村地域防災減災事業	木頭2期	徳島県	○	○	○	-	○	○	○	○	9.40	○	-	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、排水路工、承水路工、水抜きボーリング工、土留工、アンカー工の地すべり対策を進めており、令和9年度に概成を確認後、事業完了する見込みとなっている。 特産品で栽培が盛んであるゆずの農地や、農業用施設のほか、人家、公共施設等の地すべり被害を防止することは、近年の集中豪雨等の異常気象が頻発していることを踏まえ、農村地域の安全安心な暮らしや人命を守り、国土保全を図るため重要である。また、本地区が含まれる那賀町には、若手生産者がつくる「チーム木頭ゆず」等の活動もみられ、担い手の育成も熱心に取り組んでいる。 今後は、対策工の効果について十分な経過観察を行い、地域住民が継続的に安心して営農や生活が行えるよう、環境に配慮しつつ計画的な事業実施に努められたい。	予算を割り当てる。	
中国四国農政局	徳島県	農村地域防災減災事業	木沢2期	徳島県	○	○	○	-	○	○	○	○	20.95	○	-	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区は、排水路工、承水路工、水抜きボーリング工、土留工、集水井工の地すべり対策を進めており、令和9年度に概成を確認後、事業完了する見込みとなっている。 特産品で栽培が盛んであるすだち、ゆずなどの農地や、農業用施設のほか、人家、公共施設等の地すべり被害を防止することは、近年の集中豪雨等の異常気象が頻発していることを踏まえ、農村地域の安全安心な暮らしや人命を守り、国土保全を図るため重要である。また、本地区が含まれる那賀町には、若手生産者がつくる「チーム木頭ゆず」等の活動もみられ、担い手の育成も熱心に取り組んでいる。 今後は、対策工の効果について十分な経過観察を行い、地域住民が継続的に安心して営農や生活が行えるよう、環境に配慮しつつ計画的な事業実施に努められたい。	予算を割り当てる。	
九州農政局	佐賀県	農村地域防災減災事業	川副	佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	2.45	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、現在までにクリーク護岸の整備が約6割完了しており、整備済みのクリーク周辺では、湛水被害が防止されるなど、効果が発現している。 地元からは、水路内に土砂が堆積し、多面的機能の発揮に支障を来していることや、近年集中豪雨が頻発していることから、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、関連事業との連携を図りながら、クリーク護岸の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	

評価主体	都道府県名	事業名	地区名	事業主体名	項目												事業主体の実施方針	事業主体の予算要求方針	技術検討会の意見	補助金交付の方針	備考	
					ア		イ		ウ		エ		オ	カ	キ	ク						
					①	②	①	②	①	②	①	②	B/C									その他
九州農政局	熊本県	農村地域防災減災事業	陣の平	熊本県	○	○	○	－	○	○	○	○	5.18	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、令和2年7月豪雨の影響により地すべり崩壊面の拡大が確認されたため、対策工法の変更(集排水ボーリングの延長増及び法面保護工の追加)が必要となった。事業の進捗率は約7割であり、整備済みの範囲では地すべりの変動が抑制されるなど、一定の効果が発現している。 地元からは、現在も地すべりの変動がみられることから、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、地すべり対策施設の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	
九州農政局	熊本県	農村地域防災減災事業	第二南木	熊本県	○	○	○	－	○	○	○	○	1.80	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、現在までに排水路の整備が約7割完了しており、整備済みの排水路周辺では、農地の侵食や湛水被害が軽減されるなど、効果が発現している。 地元からは、近年の突発的な豪雨や台風による被害が発生していることから、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、排水路の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	
九州農政局	鹿児島県	農村地域防災減災事業	南種子	鹿児島県	○	○	○	－	○	○	○	○	2.58	○	○	○	○	継続する。	令和7年度予算を要求する。	本地区では、現在までに用排水路の整備が約5割完了しており、整備済みの用排水路周辺では、湛水被害が軽減されるなど、効果が発現している。 地元からは、近年の突発的な豪雨や台風による被害が発生していることから、本事業の早期完了が望まれている。 今後もコスト縮減を図りつつ、環境等への調和に配慮しながら、用排水路及びため池の整備を着実に推進することが望まれる。	予算を割り当てる。	